
小学部

目次

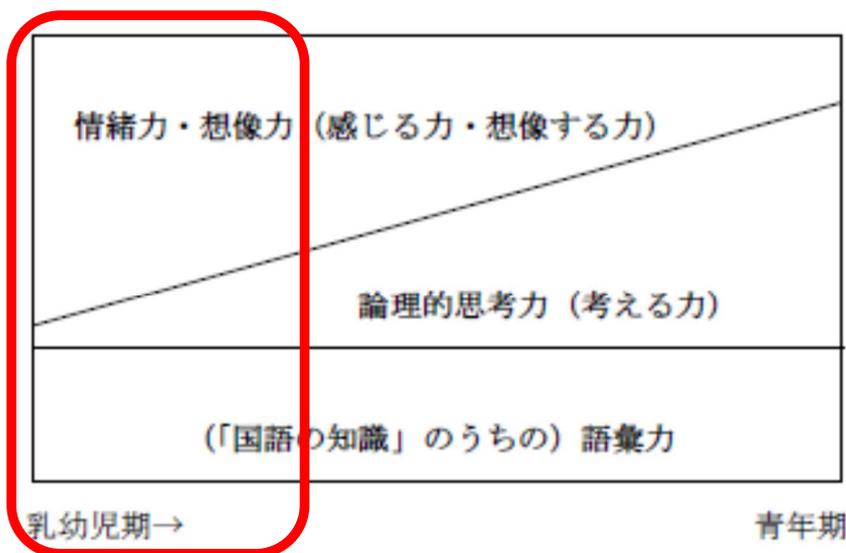
■昨年度までの取組

■今年度の取組

■昨年度までの取組

■今年度の取組

自立と社会参加に向けて育成したい国語力



幼児期の重点は
情緒力・想像力



小学部国語科の
重点課題

出典:文化審議会答申(2004)
「これからの時代に求められる国語力について」

小学部で育成したい国語力

小学部

・自分の思いや考えを表す**言葉に気づき**、表現したり伝えようとしたりする力

言葉・表現方法を身に付けて自分なりに表現してみる

小学部

・身近な人や物事に注目し、関わりの中で**言葉を捉えたりイメージを広げたり**する力

- ・自分の思いや考えを表す**言葉に気づき**、表現したり伝えようとしたりする力
- ・身近な人や物事に注目し、関わりの中で**言葉を捉えたりイメージを広げたり**する力

小学部で重視すること

情緒力を身に付けるためには、小学校段階から「読む」ことを重視し、国語科の授業の中で、**文学作品を中心とした「読む」ことの授業を意図的・継続的に組み立てていくことが大切である。**(p.15)

文化審議会答申(2004)

「これからの時代に求められる国語力について」



「読むこと(文学的文章)」に焦点化

小学部で重視すること

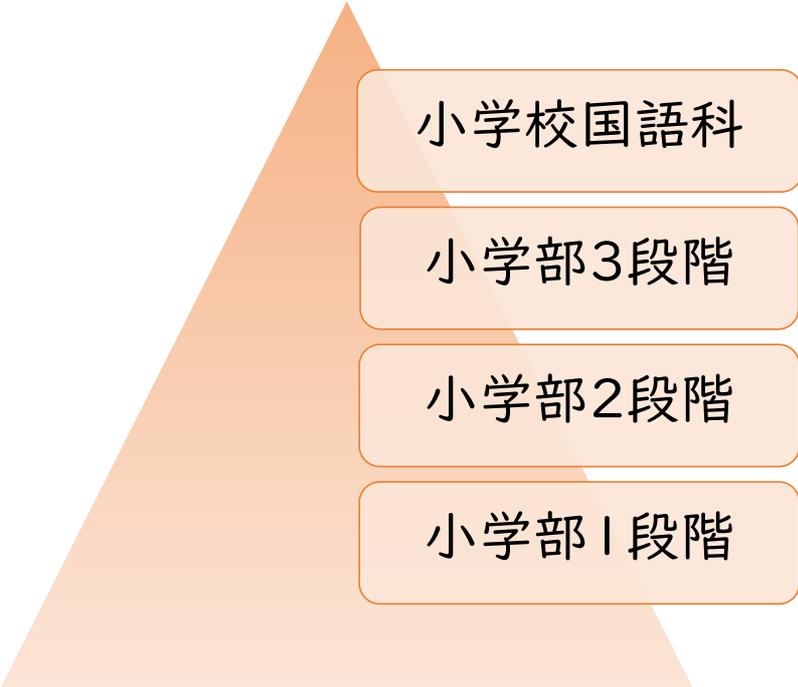
幼児期では、「読み聞かせ」や可能であれば読書により言葉の数を増やし、さらに「言葉と社会や事物との関係」を習得するために、家庭や地域で多くの様々な経験を積ませることを意識すべきである。これにより、情緒力や想像力も身に付けることができる。(P.14)

文化審議会答申(2004)
「これからの時代に求められる国語力について」



「読み聞かせ(読書)」の充実

教育課程の編成 ー指導計画の方針



小学校国語科

小学部3段階

小学部2段階

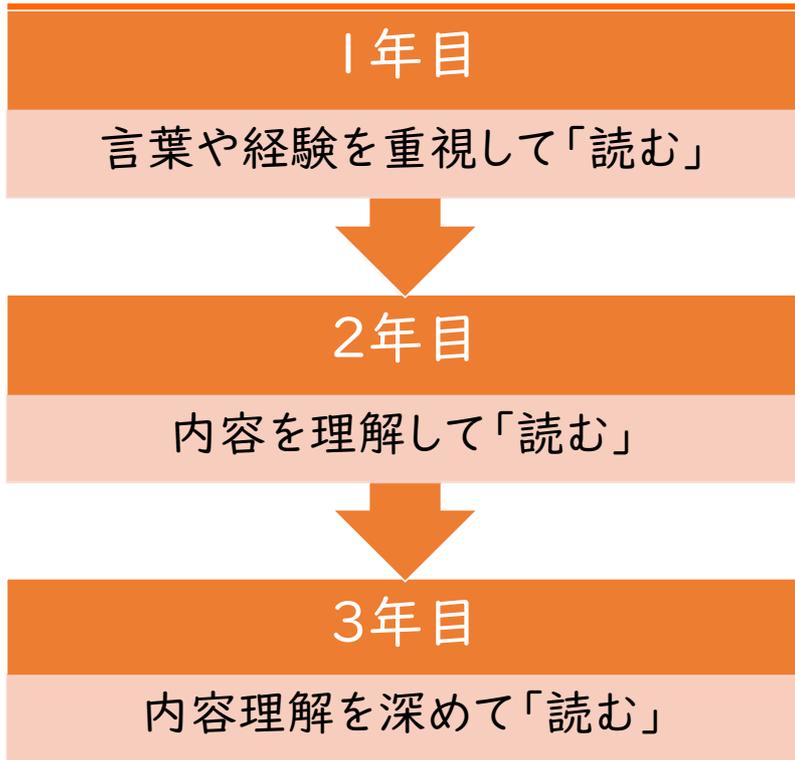
小学部1段階

小学校国語科の
内容に**接続**



小学部3段階までの
内容を**習得**

教育課程の編成 ー指導計画の方針



- ①「読むこと(文学)」を重視
- ②叙述を「読む」指導に移行

小学校国語科「読むこと」は
叙述を基にした指導

中学部・小学校に
つながる**3年計画**

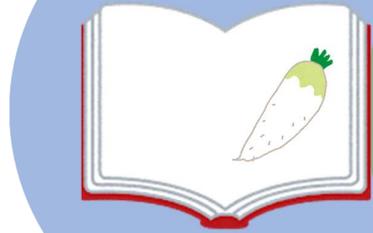
国語科の年間指導計画

1学期	2学期	3学期
知識・技能 話す・聞く 書く 読む	知識・技能 話す・聞く 書く 読む	知識・技能 話す・聞く 書く 読む

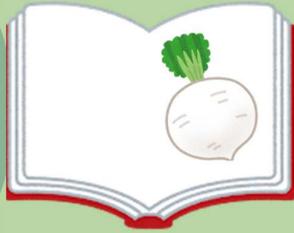
「読むこと(文学的文章)」を軸にした単元配列・時数設定
3年間取組を継続

国語科の指導方法

『おおきなだいこん』
(星本)



『おおきなかぶ』
(光村・東書)



『おじいさんとねずみのおはなし』
(星本)

『おむすびころりん』
(光村図書)

星本と**小1教科書**
共通(類似)題材の
指導方法に着目



「動作化・劇遊び」
体験的活動を重視

国語科の取組



「動作化・劇遊び」
を中心とした
「読むこと」の指導



主体的に想像を広げる姿

絵本から離れた想像の可能性
(創造?)

国語科の取組

「動作化・劇遊び」の課題分析

- ①発達段階上の難しさ（自他の視点）
- ②学習評価の難しさ（想像？創造？）

本校児童には…



小3段階「読むこと」における「構造と内容の把握」の評価としては**妥当ではない** → 代替案を検討

国語科の授業以外での取組

「読み聞かせ（読書）」の充実



- 児童の生活範囲に本があること
- 児童の「読みたい本」があること



小学部のための学校図書館
「おはなしひろば」の設置

「読み聞かせ（読書）」の充実



- いろいろな図書に触れること
- 読み聞かせの機会を増やすこと

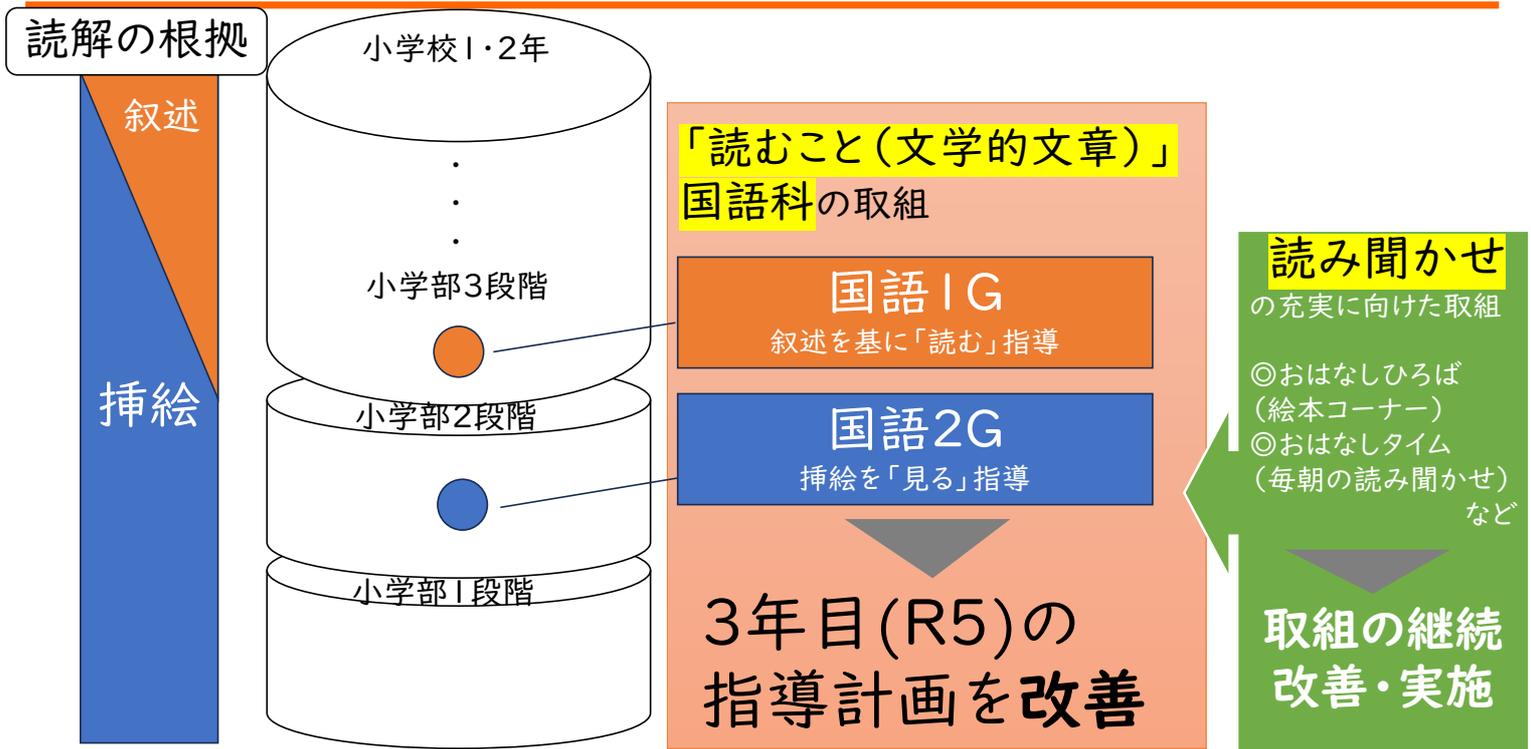


毎日朝に帯で読み聞かせの取組
「おはなしタイム」の実施

■ 昨年度までの取組

■ 今年度の取組

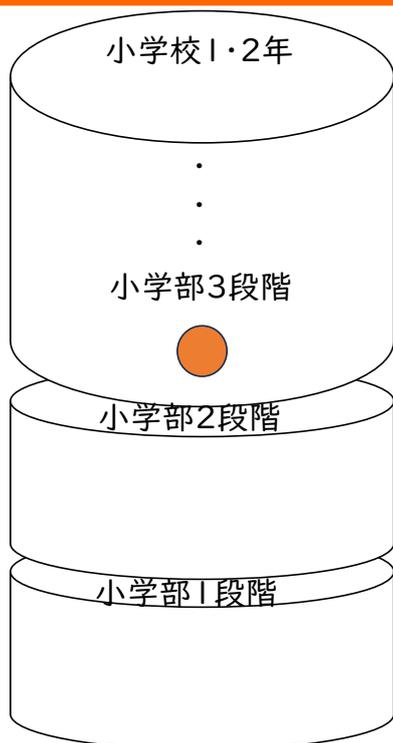
今年度の取組 ー小学部研究の全体図



今年度の取組 ー国語1Gの取組



今年度の取組 —国語IGの取組



①一人1セットの教材

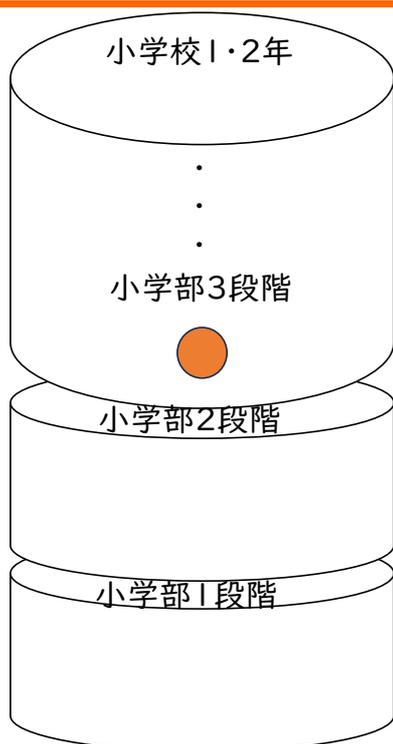
絵本を基にした内容理解(想像)には
自ら絵本を読む活動が重要

これまでの本校小学部実践の
成果と課題から見出したこと

一人1セットの教材による指導

- ・個別教材を活用した言語活動
- ・教科書を意識した指導

今年度の取組 —国語IGの取組



②「音読」の指導

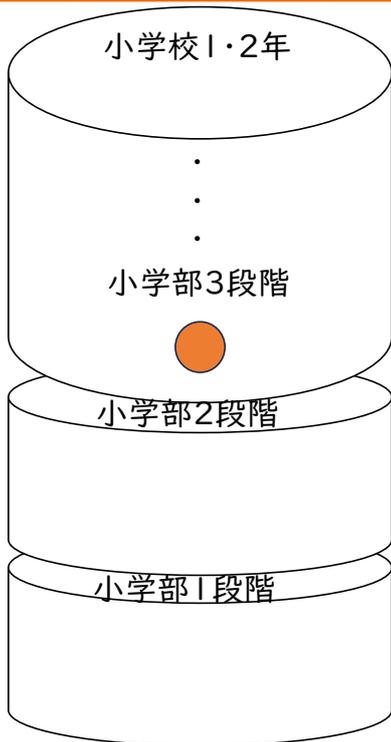
音読することによって、(中略)文章の内容を
確実に理解したりできる。(p.16)

文化審議会答申(2004)
「これからの時代に求められる国語力について」

EX) 小1教科書指導書(光村・東書)の分析
→音読から叙述へ注目して読解する指導計画

叙述を基にした内容理解には、
音読の指導が有効と推測

今年度の取組 —国語1Gの取組



②「音読」の指導

叙述から思考を深め、
内容理解につながる段階

音の響きや語句のまとまりを
意識して音読する

文中の主語・述語・助詞によ
り意味が変わることを知る

事物と文字が一致

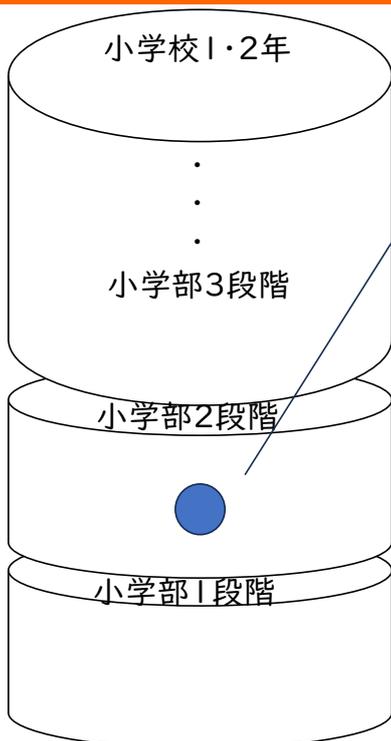
絵に添えられた文字から
情報を得る

文字への関心

小3段階相当で
叙述を基にした読解
が始まると推測

国語の知識(文字)の
学習は小1段階から
続いている

今年度の取組 —国語2Gの取組



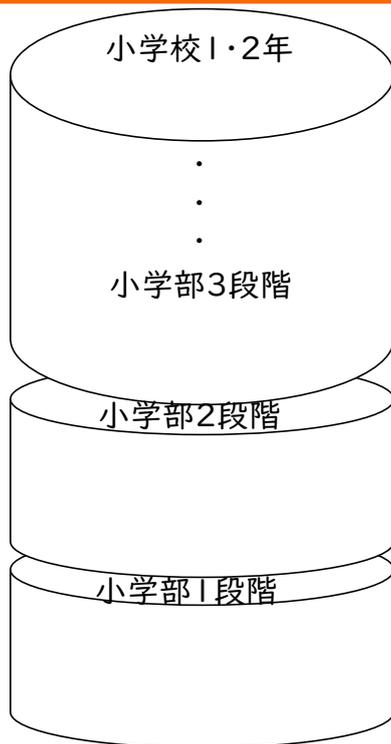
国語2G

挿絵を「見る」指導

- 「見る」は「読む」の前段階
- ・挿絵を見て内容を理解する
 - ・文字の存在に気付く

「読む」ことにつなぐ学習

国語科の授業以外での取組



読み聞かせの充実 に向けた取組

- ◎おはなし広場（絵本コーナー）
- ◎おはなしタイム（毎朝の読み聞かせ）
- ◎県立図書館との連携
 - ・レファレンスサービスの活用
 - ・おはなしひろばに貸出図書を設置
など

「読書」の観点に沿った 取組の改善・実施

分科会で皆様にお聞きしたいこと

実践動画をご覧いただいた上で…

・実践①について…「音読」の指導をしたことはありますか。
叙述に注目する指導の経験があれば、お聞かせください。

・実践②について…児童が絵本から想像したことを表出する
手段として「ペープサート」は有効だと感じられましたか。